

あなたの気になるキーワードは？

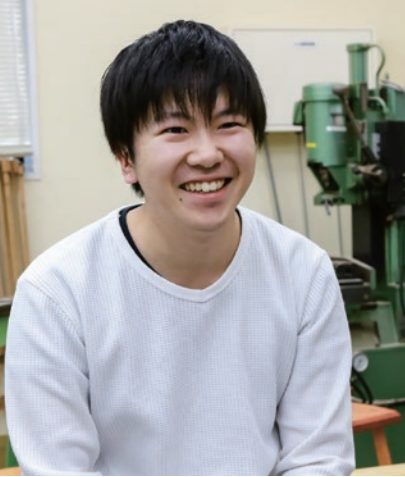
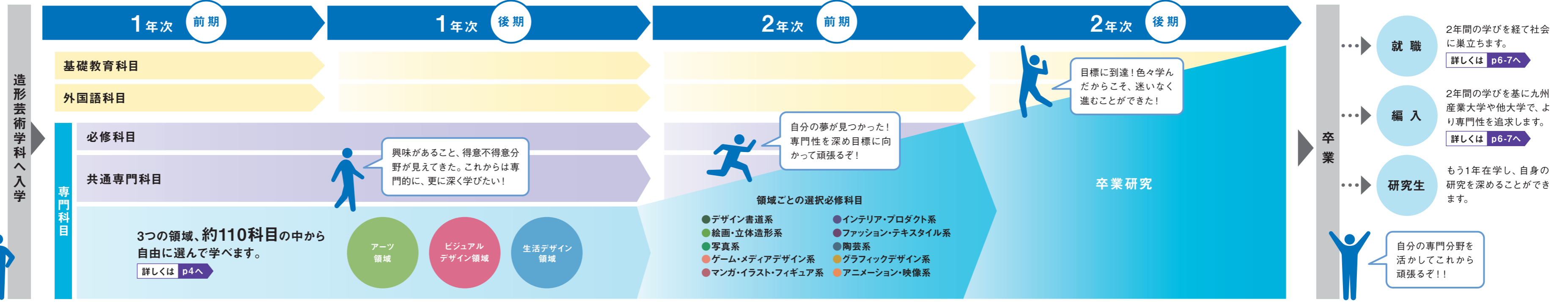
- 金工
- フィギュア
- グラフィック
- アート
- 油絵
- マンガ
- アクセサリ
- アニメ
- ゲーム
- 日本画
- パッケージ
- インテリア
- 建築
- プロダクト
- ファッション
- カメラ
- 彫刻
- 陶芸
- イラスト

2年間の学び

# ZOKEIは 1学科3領域10系列!

専門科目を自由に選択できます。

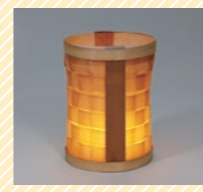
将来、自分が何をやりたいのかははっきり決まっていな、またはやりたいことが多くて迷っている人は、入学後に10系列のさまざまな授業を受けて学ぶことにより、得意な分野を見つけることができます。



My Step Up!  
在学生インタビュー  
**私はこうして選びました!**  
藤井 匠美さん  
インテリア・プロダクト系  
プロダクト  
福岡県 田川高校出身

**幅広く学ぶ** 夢を形にするために 関連分野をたくさん履修  
自身がデザインした家具を製作して、自ら販売したいという夢を叶えるために造形短期大学部へ入学しました。デザインの基本となる必修科目「描写I」「製図」などを履修。設計に不可欠な「CAD技法」の講義では、パソコンを使うことすら初めての経験だったのでとても苦戦しましたが、先生や友人の助けもあり、多くの知識や技術を習得できたと感じています。1年次の前期は、夢へ近づくために、少しでも関わりのある、興味ある分野を見極めて、色々と挑戦していこうと心に決めて取り組みました。

**自由に学ぶ** プロダクト系への挑戦で学んだ やりがいと難しさ  
後期には、大工の父の影響もあり、興味があった「建築デザインI」を選択。父の姿を見て育ったので「簡単にできる」と思っていたのですが、製図一つを仕上げるだけで精一杯。ユーザーの使い勝手を考えてデザインすることのやりがいと難しさを知りました。さまざまな授業を選択し、自分の得意不得意なことがわかったことも、その後の目標設定に活かされたと思います。またこの頃、家具を実際に製作する「ファニチャーデザインI」が始まりました。設計した家具が模型や実物になり、夢へ近づいていると実感。充実した毎日を過ごせました。



インテリア・プロダクトデザインB「籠明」

**専門的に学ぶ** インテリアデザインを極めるため さらなる知識と技術力を蓄積  
先生から「インテリアデザインを極めるなら『3次元CAD』を習得する」と薦められて挑戦。模型を作り上げるよりも時間がかからず、図面ではわからない細かな点にも気付くことは新たな発見でした。必死に練習を重ねた結果、苦手だった設計作業の効率がアップしました。



ファニチャーデザインII「座編みスツール」

**学びを形にする** 選択の幅の広さが 充実の学校生活へとつながった  
卒業研究の「ローチェア」や「座椅子」の製作に取り組みました。材料には針葉樹を採用。材の違いにより生まれる強度や風合いなどを研究し、家具職人となった時に活かせたらと考えました。インテリアだけを専攻していたら決まることができなかった建築との密接な関係性。多くの分野から自由に選択できる環境があったからこそ、やりたいことを見つけ、まい進できたと感じています。



卒業研究「ローチェア」



卒業研究「座椅子」

Message for Juniors!  
在学生からのメッセージ  
**未経験でも安心! さまざまな学生に合った教育環境があります**  
造形短期大学部での2年間は、あっという間です。しっかりとスケジュール管理をしながら、興味があることには思いっきり挑戦してみてください。未経験でも大丈夫! 基礎からしっかり学べる環境が整っています。僕は就職しますが、さらに学びたい人には、九州産業大学や他大学への編入制度もあるので、事前に調べておくといいと思います。